

日本史籍講読5－Ⅲ

科目ナンバリング JPH-409
選択必修 2単位

矢越 葉子

1. 授業の概要(ねらい)

日本古代史の史料を読解できるようになるため、その前提となる漢文法をまずは学ぶ。その上で、奈良時代の歴史書『続日本紀』をテキストとして精読していく。受講者は順番に発表者となり、『続日本紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物に関する説明を記したプリントを作り、発表する。また、その解釈や背景にある歴史的事項について、発表者以外も含めて全員で討議する。なお、『続日本紀』以外の古代の様々な史料も紹介し、その場で輪読することができる。

2. 授業の到達目標

- ①古代の史料の読解力を習得する。
- ②日本古代史について幅広い知識を会得する。
- ③辞書や参考文献を用いて、自身の力で調べることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)発表において書き下し文・現代語訳・語句および人物に関する説明ができているか 40%(到達目標①～③)
- (2)史料の読解に関する小テスト3回 60%(到達目標①②)

4. 教科書・参考文献

参考文献

青木和夫ら 新日本古典文学大系『続日本紀』 岩波書店

5. 準備学修の内容

- ・発表者はあらかじめ『続日本紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物に関する説明を記したプリントを作成する。
- ・分からない漢字や熟語は『大漢和辞典』や『日本国語大事典』で、歴史用語は『国史大辞典』で調べておく。
- ・テストに備えて、ノートを見直し復習する。

6. その他履修上の注意事項

日本古代史の基礎的な知識は、『日本の時代史』や『大学でまなぶ日本の歴史』(いずれも吉川弘文館)などの通史の本を用いて修得しておいて欲しい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション【オンライン授業】
 - ・『続日本紀』についての解説
 - ・授業の進め方や評価方法の説明
- 【第2回】 漢文の読み方の実践と日本古代史の知識習得
 - ・課題の発表
 - ・漢文の読み方の基本的な事項についての解説
 - ・実際に『続日本紀』を読む
- 【第3回】 続日本紀の発表①
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第4回】 続日本紀の発表②
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第5回】 続日本紀の発表③
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第6回】 小テスト(1) 発表①～③の内容
『出雲国風土記』の輪読
- 【第7回】 小テスト(1)の解説【オンライン授業】
今後の授業に向けた基本的な事項の再確認
- 【第8回】 続日本紀の発表④
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第9回】 続日本紀の発表⑤
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第10回】 続日本紀の発表⑥
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第11回】 小テスト(2) 発表④～⑥の内容
『律令』の輪読
- 【第12回】 続日本紀の発表⑦
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第13回】 続日本紀の発表⑧
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第14回】 続日本紀の発表⑨
 - ・漢文の読解、奈良時代史についての基礎知識の習得
- 【第15回】 小テスト(3) 発表⑦～⑨の内容
『類聚三代格』の輪読